

職員による自己評価

A 環境面

配置スタッフは増やし、スペースももっと確保したほうが良い。

B 業務改善

目標と設定を振り返り、広く職員が加わっている。
新人職員への指導の機会を増やすと良い。

C 支援の提供

アセスメントを行い、分析してチームもしくは複数の職員で検討が出来ている。

子どもたちが楽しんで取り組めるように工夫を行い、子どもたちが主体的となって選択出来るように配慮がなされている。支援終了後に職員間で支援の振り返りを行うのが難しい。

D 関係機関や保護者との連携

学校との情報共有は行えてきている。
放課後児童クラブや児童館、地域での他の子どもたちと活動する機会を持つことが出来ていない。

C 保護者への説明責任

サービス提供中に子どもの様子を保護者が把握出来るように努めている。保護者会等の開催が出来ていない。

D 非常時の対応

虐待を防止する為に、職員の研修会を確保している。

保護者による評価

A 環境面

階段が結構急なので、もう少し浅い階段だと良い。
その他 94%整備されていると回答。

B 児童への支援内容

課題が客観的に分析出来ているが「はい」が 100%と言う回答、児童館などでの交流機会について「望まない」との回答もあった。

C 保護者への説明責任

8項目ある中で、6項目が「はい」100%、2項目に関しては面談の回数や保護者会を開催して欲しいとのご意見あり。

D 非常時の対応

マニュアルの配布、避難訓練は行っている。利用が少ない児童には参加機会が少ない。

事業所内での分析

【共通点】

支援や活動に関してはおおむね満足。

【相違点】

満足度は高いが、事業所側からは安全に支援・活動の為に職員の配置を増やした方が良い。との意見が多かった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

活動内容は、季節感を意識して考え工夫して行えている。もみじのてへ来所するのを「楽しみにしている」と聞き、嬉しく励みになる。

家庭・学校も含めて情報の共有に努め、繋がりは出来てきていると感じる。

事業所の改善点

保護者会を開催することが課題でどんな形で実施可能か検討必要。

支援について職員のスキルがバラバラなので、指導する機会をもっと設けたい。

事業所の改善への取り組み

共通した支援、信頼関係を築く為にも全体研修や個別に行うなど再検討したい。面談の機会をいかして、情報を聞き取り、伝えよりよい支援にしたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

アンケートけんかによる利用者様の支援や活動内容に関しての「満足」の評価は、職員にとって大きな励みになる。

今後も全職員で周知して取り組んでいきたい。

事業所名 もみじのて KIDS 駒岡

担当者 澤村 和絵